

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 25 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業			
担当課係名	文化財課	文化財係	作成者	小松 誠一
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ 100
	基本計画	芸術文化活動の振興と文化財の保護		
	主要施策	角館重要伝統的建造物群保存地区の保存整備		
予算費目	一般会計	10款 教育費	5項 社会教育費	4目 文化財保護費
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス <input checked="" type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	文化財保護法			
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民、国民のため、仙北市角館伝統的建造物群保存地区を、
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	国選定(重伝建)仙北市角館伝統的建造物群保存地区を保存し、且つ、その公開を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献する
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	今日の観光資源となっている武家屋敷一帯のこの保存地区を、後世に引き継ぐため保存整備事業を実施している。本事業は、文化庁の指導に基づき伝統的建造物群の修理、その他の物件の修景を行っている。個人で整備する場合は補助金を交付している。

【事務事業の推移】

		項 目	単 位	24年度実績	25年度実績	
効果	活動指標	構成物件数	目標	件	56	56
			実績	件	56	56
			達成度	%	100.0%	100.0%
	成果指標	実績件数	目標	件	1	1
			実績	件	2	1
			達成度	%	200.0%	100.0%
投下コスト	項 目		総事業費	24年度決算額(千円)	25年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)		—	5,979	15,348	
	人 件 費 (B)		—	5,087	4,972	
	職 員 数		—	0.60	0.60	
	職員平均人件費		—	8,479	8,286	
	(A)+(B) 投下コスト		—	11,066	20,320	
	財源内訳	国 庫 支 出 金		—	2,572	7,662
		県 支 出 金		—	1,286	0
		地 方 債		—	0	0
		そ の 他		—	0	0
		一 般 財 源		—	7,208	12,658
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	197,607	362,857	
	市民1人当たりのコスト(円)		—	372	691	

【事務事業の今までの成果】

昭和51年選定来、今日まで継続され事業展開され、武家町として趣のある街並みとして整備された。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	全国に伝建地区が100地区を超え、地区間の格差が生じ始めている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	観光客が増えたことで風致の乱れが指摘されている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	保存地区内の建造物は全て木造であり、永く保存するためには、永続的な各種事業展開が必要である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	地区内の樹木があることで、景観が保たれていますので、その保存・手当も含め、全国に誇る仙北市の顔の一つとして、また、伝統文化を重んじる仙北市民の心のシンボルとしても永続的に保存することが望まれる。

